



市民が行う環境調査の重要性 ～多摩川一斉水質調査の意義～

美しい多摩川フォーラム副会長の小倉紀雄・東京農工大学名誉教授が提唱する「市民環境科学」は、身近な河川の水質調査の意義について、

- 市民自らが水環境を調査し、その実態を把握することができ、水環境について考えるきっかけになる
- 調査した結果に基づいて、必要に応じ水環境の保全・修復の実践活動を行うことができる
- 子どもたちが調査に参加することにより次世代へ繋げることができる

としています(参考文献:小倉紀雄『市民環境科学への招待』2003年)。

当フォーラムが取りまとめている多摩川流域水質マップも、こうした考え方に基づいて作成されており、「多摩川一斉水質調査に向けて・成果報告書(2008年3月)」で、その意義が詳しく述べられています。

つまり、多摩川流域に住んでいる私たちは、身近な河川の環境を把握することにより、問題点などがあれば自ら解決に向けた行動をとることができるのです。

また、川は上流から河口まで一本でつながっています。自分たちの住んでいる地域だけで水質を良くしようとしても、上流に汚染源があったり、下流で生活排水が流入していると、例えば鮎のように川を遡上(そじょう)して生活する魚はすめません。このため、河川全体が一目でわかる流域マップの作成が必要なのです。さらに、このマップも1年だけではなく継続的に作成することで、その川の様子が見えてきます。水環境は、1日のなかで変化するほか、季節によっても変化します。その点を理解し、私たちの日常生活と河川環境のつながりを考えてみましょう。そのとき、みなさんで多摩川流域水質マップを活用していただければ幸いです。

調査結果

● 調査日と地点数

調査日	5月31日	6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月6日	6月7日	6月8日	6月9日	6月23日	6月26日	7月4日	調査日不明	合計
地点数	1	7	371	16	4	1	3	18	7	1	2	1	8	440

● 温度

気温	14～30℃
測定結果	地点数
5℃未満	0
5～10℃未満	0
10～15℃未満	3
15～20℃未満	87
20～25℃未満	252
25℃以上	66

● COD 測定結果(中央値)

	2009年		2010年		2011年		2012年		2013年	
測定結果	地点数	比率(%)	地点数	比率(%)	地点数	比率(%)	地点数	比率(%)	地点数	比率(%)
0～3mgO/L 未満	218	54.5	207	44.9	203	51.5	226	56.5	209	47.5
3～6mgO/L 未満	133	33.3	169	36.7	140	35.5	124	31.0	136	30.9
6mgO/L 以上	46	11.5	82	17.8	50	12.7	46	11.5	83	18.9
未測定	3	0.7	3	0.6	1	0.3	4	1.0	12	2.7
合計	400	100.0	461	100.0	394	100.0	400	100.0	440	100.0

CODって何?

『水の中にふくまれている有機物によるよごれを数値であらわしたものです。』

COD (mg O/L)	川のきれいさ	どんな魚や生きものがすめるのかな?(目安)
0～3 未満	きれい	ヤマメ・イwana・アユ・サワガニ・カワゲラ・ヘビトンボ
3～6 未満	ややよごれている	フナ・コイ・ヒラタドROMシ・コオニヤンマ・カワニナ
6 以上	よごれている	魚は苦しくてすみたくない・ヒル・タニシ・アメリカザリガニ

(浅川市民フォーラム作成マップから引用)

※気温及び水温は未測定地点もあるため総地点数と必ずしも一致しません。
※水温計不具合により一部信頼性低下している地点あり。(調査終了後に発覚)

調査団体(個人参加を含む)一覧(順不同)

環境白門会/浅川流域市民フォーラム/八王子ランドマーク研究会/八王子中央地区環境市民会議/谷地川探検隊/八王子に清流を取り戻す市民の会/多摩市水辺の楽校/日野市環境共生部 緑と清流課/八王子市東南部環境市民の会/浅川潤徳水辺の楽校/程久保川を考える会/八王子市北部環境保全推進地区市民会議/夕焼け小焼けエコミュージアム/グループひの消連/Kie&Koki/八王子西南地区環境市民会議/東京都山岳連盟自然保護委員会/東京NPO・21研究所/株SRL遺伝子・染色体解析センター/高尾・浅川の自然を守る会/八王子市西部地区環境市民会議/八王子東部地区環境市民会議/NPO法人環境活動センター八王子/日野水の会/都立日野高校/日野の自然を守る会/せたがや野川の会/はむら水と緑の会/環境・国際研究会/玉川上水ネット/一般社団法人 全国上下水道コンサルタント協会/府中かんきょう市民の会/福生水辺の楽校運営協議会/あきしま水辺の楽校/井の頭・神田川を守る会/国立市水の懇談会/狛江市環境を考える会/身近な川の一斉調査実行委員会/小金井クリーン野川研究会/多摩科学技術高校/アーサークラブ・FAMS/国分寺みずっこクラブ/美しい多摩川フォーラム/青梅・多摩川水辺のフォーラム/みずとみどり研究会/法政大学水文地理学研究室/NPO法人境川緑のルネサンス/バックテスト共の会/みなみだいら児童館ぶらなっと/日野市環境市民大学の会/緑を愛する会・日野/世田谷区立玉川小学校/花と水/日本山岳会・東京多摩支部・自然保護委員会/調布市多摩川自然情報館の仲間たち/国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所/おさかなポストの会/ガサガサ水辺の移動水族館/ニヶ領用水ウォッチング・フォーラム/多摩川水大学/個人参加 14名

※多摩川一斉水質調査は東急百貨店ココエコチャリティー事業からの支援を受けております。

● 調査河川と測定地点数

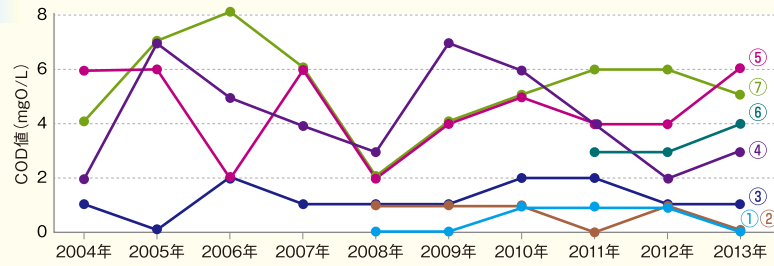
調査河川	地点数
多摩川	127
逆川	0
染地川	0
平瀬川	2
谷沢川	5
谷戸川	2
丸子川	7
野川	42
仙川	7
矢川	3
乞田川	3
浅川	29
南浅川	4
北浅川	13
倉沢川	0
根川	3
大栗川	8
鎌水川	1
案下川	1
案内川	3
寺沢川	6
御霊谷川	1
川口川	6
大沢川	6
南の沢	0
小仏川	0
城山川	5
残堀川	3
山田川	8
小津川	0
大瀬川	2
大田川	2
醍醐川	2
谷地川	9
程久保川	8
殿ヶ谷戸川	1
湯殿川	11
寺田川	1
入山川	1
兵衛川	2
野堀川	3
平井川	3
日原川	2
秋川	6
平溝川	2
入川	1
寸庭川	1
海沢川	1
小菅川	2
大丹波川	3
丹波川	2
後山川	0
三沢川	1
城の越川	2
玉川上水	22
用水(分水)	36
湧水	11
その他(池・井戸)	8
合計	440

多摩川一斉水質調査2004年からの移り変わり



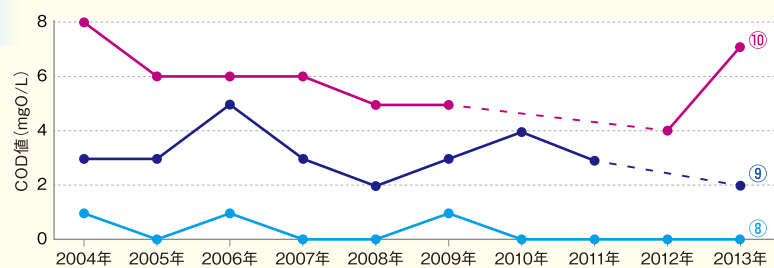
多摩川本川

- ①丹波川 丹波山村役場東
- ②多摩川 青梅市民球場 河辺
- ③多摩川 羽村郷土館前
- ④多摩川 JR中央線ガード下
- ⑤多摩川 大丸堰
- ⑥多摩川 第三京浜下
- ⑦多摩川 大師橋



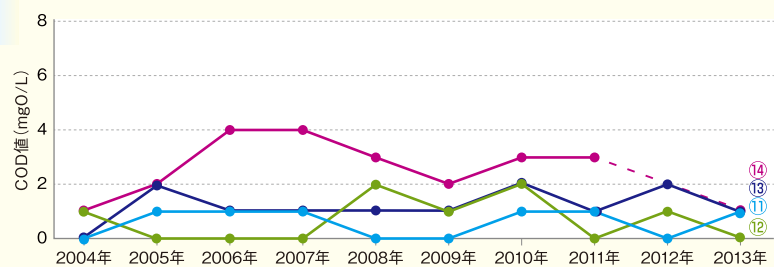
野川

- ⑧野川 真姿の池
- ⑨野川 御狩野橋
- ⑩野川 旧水道橋



浅川

- ⑪北浅川 陵北大橋
- ⑫南浅川 両界橋
- ⑬浅川 浅川大橋
- ⑭浅川 新井橋

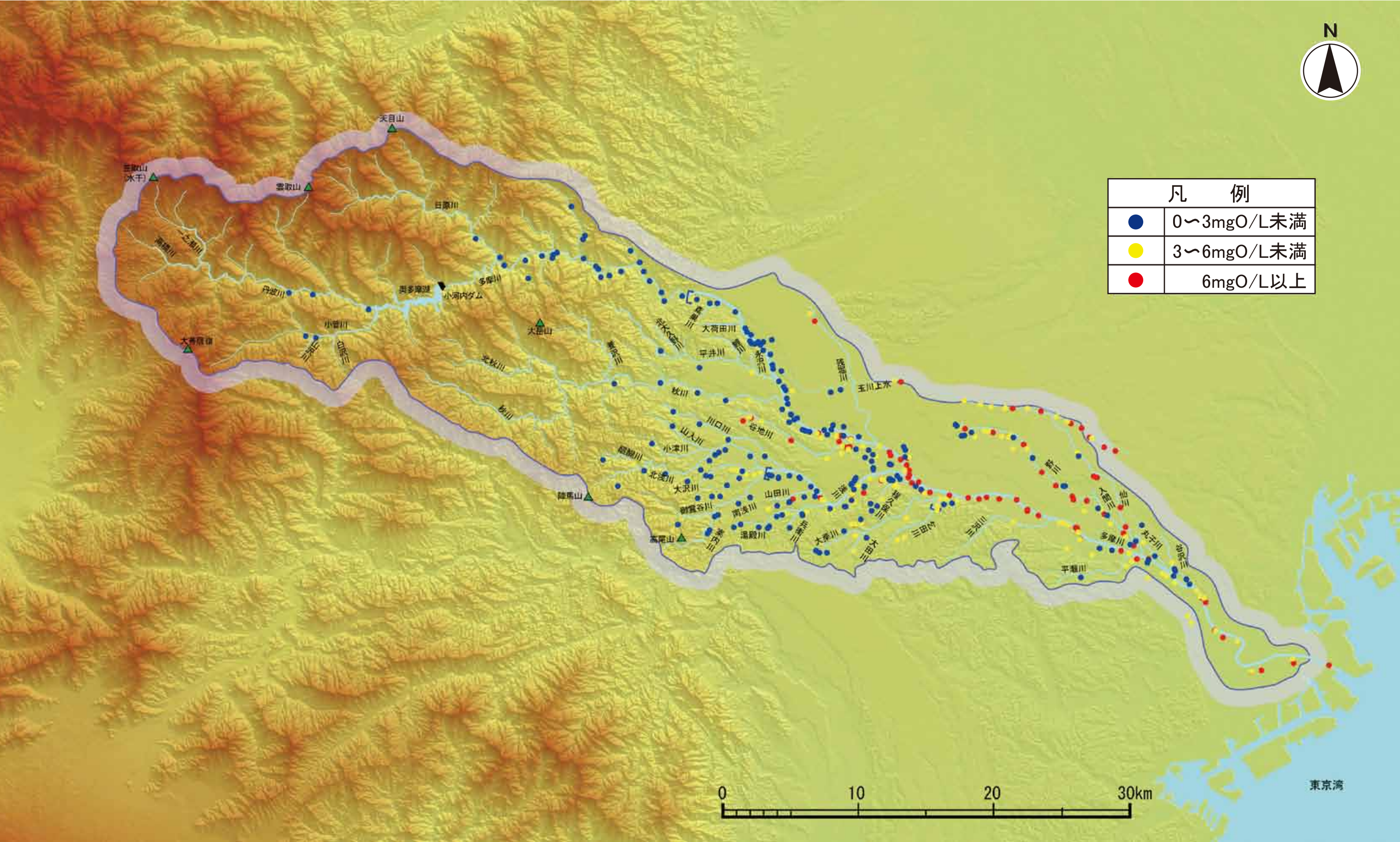


美しい多摩川フォーラムでは、「多摩川一斉水質調査」の準備段階として、市民による水質調査の状況を知るため、2007年に得られたCODデータから水質マップを作成し、2008年から本格的な水質調査を開始しました。
今回の調査では、2004年にスタートし、2007年から当フォーラムと連携している「身近な水環境の全国一斉水質調査」の過去のCODデータを引用させていただき、多摩川の水質状況の推移を表す上掲のグラフを作成しました。昨年のマップ同様、継続調査の重要性や市民モニタリングの意義がこのグラフからうかがえます。
毎年、多摩川水系の約400地点で調査が実施されており、多摩川本流、浅川、野川の全域からピックアップした地点のCODデータの推移を見ると、水質は上流部のほうが良好であり、また、それぞれの地点での傾向もわかります。データの蓄積により、異常値が発生した場合でも、その時に記録された河川の状況や天候状況等を調べることで、原因究明に向けて、迅速な対応が市民レベルでも行えます。

《発行日》 2013年11月1日
《発行者》 美しい多摩川フォーラム
(事務局: 青梅信用金庫 地域貢献部 内)
〒198-8722 東京都青梅市勝沼三丁目65番地
tel: 0428-24-5632 fax: 0428-24-4650
e-mail: forum@tama-river.jp
《編集》 小倉紀雄、倉司、佐山公一、高橋克彦、本間君枝(五十音順)
《協力》 全国水環境マップ実行委員会
事務局 みずとみどり研究会 内
〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202
tel/fax: 042-327-3169 e-mail: mizutomidoriken@ybb.ne.jp
《マップ製作》 国際航業株式会社

第6回 多摩川一斉水質調査
多摩川流域の水質マップ(COD)

2013年6月2日(日)実施
第10回身近な水環境の全国一斉調査と連携



※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承諾を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用した。(承認番号 平25情使、第416号)